

議事録（概要）

会議名	平成 30 年度 第 2 回 芦屋町行政改革推進委員会					
会場	芦屋町役場 4 階 第 41 会議室					
日時	平成 30 年 9 月 4 日(火) 10:00～11:40					
委員の 出欠	会長	占部 吉郎	出	委員	安部 知彦	出
	副会長	片山 和夫	出	委員	国崎 重太	出
	委員	中山 孝泰	出	委員	中尾 昭久	出
	委員	藤崎 隆子	出	委員	中西 一美	出
	委員	濱野 頼子	出	委員	川上 登美江	出
件名・議題	<p>1. 開会</p> <p>2. 会長あいさつ</p> <p>3. 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般会計財政シミュレーション（H30～2022 年度）について ・集中改革プラン 29 年度推進結果及び集中改革プラン 30 年度改訂版について（結果報告） <p>4. その他 （事務局より）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 回委員会時における委員からの質疑に対する回答を行った。 					
合意事項 決定事項	<ul style="list-style-type: none"> ・議題「一般会計財政シミュレーション（H30～2022 年度）」について事務局から説明を行い、了承された。 ・芦屋町集中改革プラン 29 年度推進結果及び 30 年度改訂版の変更点について事務局から説明を行い、了承された。 					

平成 30 年度 第 2 回芦屋町行政改革推進委員会 議事録

日 時 : 平成 30 年 9 月 4 日(火) 10:00~11:40

場 所 : 芦屋町役場 4 階 第 41 会議室

<議事 1 一般会計財政シミュレーション 質疑応答および意見>

1	委員	P1 一般会計財政シミュレーション科目別設定条件について 歳入のうち、臨時財源「モーターボート競走事業会計繰入金」 において、毎年の繰越額「原則 4 億円」が 2021 年度から「原 則 5 億円」となっている。 今後もボートの収益が見込めるため、増額としたのか。
	事務局	繰入額については、競艇事業局と協議を行い、1 億円増額と した。平成 29 年度の純利益が約 28 億円と収益は好調であ り、今後も「原則 5 億円」の繰入は可能と判断している。 なお、増額した 1 億円は、今後更新時期を迎える公共施設の 更新費用に充てるため、「(仮称)公共施設等整備基金」を 創設し、この基金に積み立てる予定である。
2	委員	P1 一般会計財政シミュレーション科目別設定条件について 歳入のうち、臨時財源「国庫支出金」において、「調整交付 金」とあるが、防衛省関係で町にどの程度、お金が入って いるのか。
	事務局	基地施設等の固定資産相当分として交付される国有提供施 設等所在市町村助成交付金が約 2 億円。基地周辺の市町村に 交付される特定防衛施設周辺整備調整交付金が約 1 億円、計 3 億円を毎年見込んでいる。
3	委員	P3 大型事業について 老人憩の家の立替え方針や芦屋中央病院跡地の活用計画等 は決まっているのか。
	事務局	現在検討中であり、具体的な方針や活用方法等は決まってい ない。
4	委員	その他 小中学校の空調整備やトイレ改修により、学習環境は整い感 謝しているが、小学校の屋外遊具の老朽化が目立つ。安全点 検等を含め、更新計画等はあるのか。
	事務局	屋外遊具については、専門家による点検を行っている。この ため、危険と判断されたものは随時撤去を行い、必要なもの は更新していく。

<議事 2 集中改革プラン 質疑応答および意見>

1	委員	<p>【30年度改訂版】 P10 財政シミュレーションの公表について 今年度より財政シミュレーションの策定期間を 10 年間から 5 年間に変更したとの説明を受けたが、実施概要では「今後 10 年間の～」と記載されている。5 年の誤りではないか。</p>
	事務局	誤りであるため、修正する。
2	委員	<p>【30年度改訂版】 P11 バイオマスエネルギー発電システムの導入について 30 年度の数値目標として、1 日当たり 600kw の発電量とあるが、稼動後の実績値はどのくらいか。</p>
	事務局	月の平均は把握していないが、9 月 3 日（月）の発電量は 1 時間当たり 31.0kw、1 日当たり 738kw であった。